

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日
定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社(※1)

特別口座の
口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社(※1)

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

(電話照会先)
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。(※2)

(お知らせ)

(※1) 当社の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (住所、電話番号の変更はございません)

(※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

公告方法 電子公告により、当社ホームページ

(<http://www.advanced-media.co.jp/ir/>)に掲載いたします。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



第15期 中間報告書

2011.04.01～2011.09.30



2012 Interim AMI Report

Vision

Human Communication Integrationの実現

アドバンスト・メディアは、
「機械」との自然なコミュニケーションを実現し、
豊かな未来を創造します。

会社概要 (2011年9月30日現在)

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
設立 1997年12月
資本金 45億8,509万円
取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、他
所在地 本社 〒170-8630
東京都豊島区東池袋3-1-4
サンシャインシティ文化会館6階
Tel:03-5958-1031 (代表)
Fax:03-5958-1032
連結子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国)
業務提携先 Multimodal Technologies, LLC. (米国)



株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773

連結業績概要

当連結会計年度は、第2次中期経営計画のフェーズ1として、第1次中期経営計画で確立したコアドメインを、商品力強化により拡販するとともに新機軸サービス事業へ本格的に取り組んでまいりました。

売上高

- 調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムの販売が堅調であった医療分野が当初計画を上回る実績で推移しました。
- 当連結会計年度の売上高で大幅な増収を計画している金融・製造分野において、当初見込んでいた受託開発案件の獲得の一部に期ずれがあったこと等により、全体での売上高は前年同四半期を上回ったものの当初計画を下回る結果となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は583百万円（前年同四半期は売上高579百万円）となりました。

損益

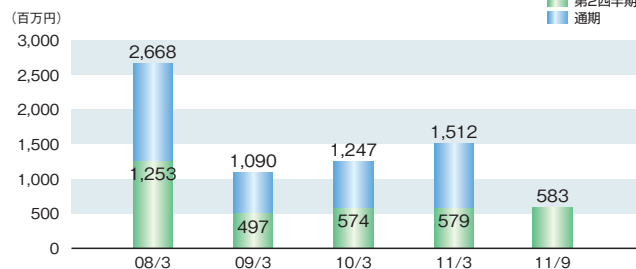
- 粗利益率の向上および販売費及び一般管理費の低減に対し継続的に取り組み、当初計画以上の水準を達成しました。
- 2011年8月18日付で、当社持分法適用関連会社であったMultimodal Technologies, Inc.（米国）の当社保有株式全てを、MedQuist Holdings, Inc.（米国、NASDAQ上場）に譲渡いたしました。譲渡により、同社を当社グループ会社から除外したため、営業外収益の持分法による投資利益は当初予定より減少いたしました。関係会社株式売却益2,008百万円を特別利益に計上いたしました。

これらの結果、営業損失は195百万円（前年同四半期は営業損失208百万円）、経常損失は191百万円（前年同四半期は経常損失170百万円）、四半期純利益は1,817百万円（前年同四半期は四半期純損失145百万円）となりました。

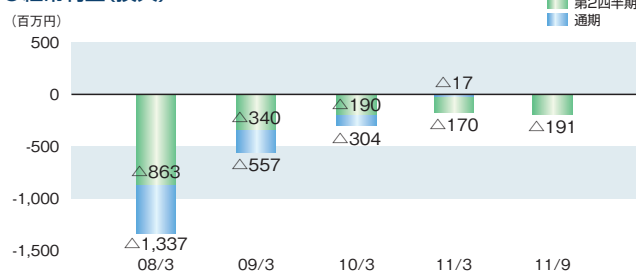
財務ハイライト

※2009年3月期に連結子会社の整理をしております。

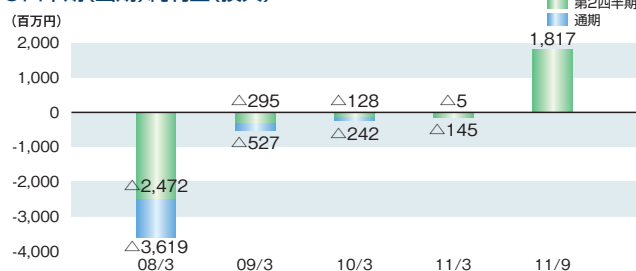
●売上高



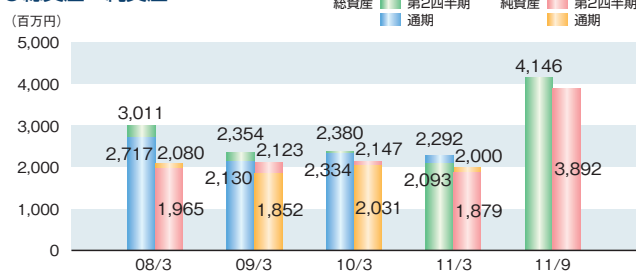
●経常利益(損失)



●四半期(当期)純利益(損失)



●総資産・純資産



株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第15期中間報告書をお届けし、当社事業概況のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく2012年3月期（第15期）から2014年3月期（第17期）の第2次中期経営計画を策定いたしました。当連結会計年度は、第2次中期経営計画のフェーズ1として、第1次中期経営計画で確立したコアドメインを、商品力強化により拡販するとともに新機軸サービス事業へ本格的に取り組んでまいりました。

そのような中、医療分野においては、音声によって手軽に電子カルテや読影レポートが作成できる音声入力システムの新シリーズとして、新音響モデル対応により認識率を向上させた「**AmiVoice® Ex7**」の販売を開始し、調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムを中心に販売が好調に推移いたしました。そして、モバイル分野においては、医療・金融・保険など幅広い業務で対応が可能なモバイル向けクラウド型音声認識サービス『音声認識ブラウザ for iOS/Android』を発売し、教育分野においては、当連結会計年度より販売を開始した高校向けの学習に特化した日本人学習者向け英語発音矯正ソフト「**AmiVoice® CALL-pronunciation-高校版**」を、都立高校11校に納入いたしました。一方、当連結会計年度の売上高で大幅な増収を計画している金融・製造分野において、当初見込んでいた受託開発案件の獲得の一部に期ずれがあったこと等により、全体での売上高は前年同四半期を上回ったものの当初計画を下回る結果となりました。

また、当社持分法適用関連会社であったMultimodal Technologies, Inc. (米国) (以下、MTI社) 株式全てを、MedQuist Holdings, Inc. (米国、NASDAQ上場) (以下、MedQ社) に譲渡し、関係会社株式売却益2,008百万円を特別利益に計上いたしました（株式交換により一部MedQ社株式を取得）。あわせて、MTI社と当社の契約変更につき合意いたしました。これらは、右記に記載したとおり、グローバル化等々の第2次中期経営計画を実現する強固な土台を構築できたものと考えております。

当連結会計年度では、営業利益の黒字化を実現するとともに、更なる企業価値の向上に繋がるよう、全社員一丸となり事業を推進していく所存でございます。

今後とも、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

Multimodal Technologies, Inc. (持分法適用関連会社) から MedQuist Holdings, Inc. との連携へ

適時開示

- 1 持分法適用関連会社株式の譲渡に関するお知らせ (2011年7月12日開示)
- 2 持分法適用関連会社株式の譲渡完了に関するお知らせ (2011年8月19日開示)
- 3 営業外収益および特別利益の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ (2011年8月29日開示)
- 4 Multimodal Technologies, Inc. (米国) との契約内容の変更に関するお知らせ (2011年9月30日開示)

譲渡対価

譲渡対価の項目	対価
1 譲渡を契機として金銭で受領した配当	1,596千米ドル
2 譲渡完了日に金銭で受領した譲渡対価	10,737千米ドル
3 譲渡完了日に取得した MedQuist Holdings, Inc. 株式数	1,204,800株
4 一定の条件のもと、譲渡完了日から3年以内金銭で受領予定の譲渡対価	8,251千米ドル

グローバル化の強化

財務面

- 売却益2,008百万円（連結）
- 今後3年間で8,251千米ドルのキャッシュの増加

技術・リソース面

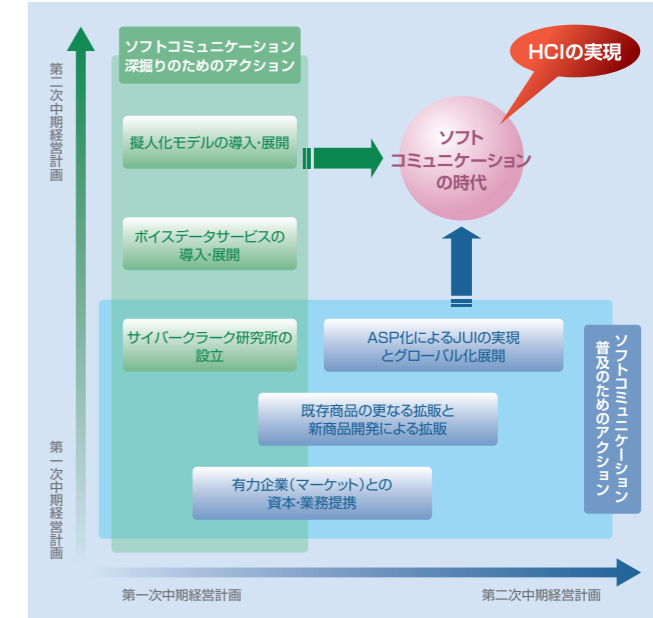
- NASDAQ上場のMedQuist Holdings, Inc. 株式を取得
- **AmiVoice®** のグローバル化を容易にかつ強力に推進可能

収益面

- グローバル化による収益の増大
- ロイヤリティ料率の低減による利益率の向上

第2次中期経営計画の実現に向けて強固な土台を構築

市場化戦略（第2次中期経営計画）



業績の推移および今期計画

